

一、七千石 三貫百目
 一、八千石 三貫五百目
 一、九千石 三貫九百目
 一、一萬石 四貫三百目
 一、一萬二千石 四貫四百目
 一、一萬三千石 四貫七百目
 一、一萬四千石 五貫五百目
 一、一萬五千石 五貫七百目
 一、一萬六千石 五貫八百目
 一、一萬七千石 六貫百目
 一、一萬八千石 六貫五百目
 一、一萬九千石 六貫八百目
 一、二萬石 七貫百目
 一、二萬二千石 七貫四百目
 一、二萬三千石 七貫七百目
 一、二萬四千石 七貫九百目
 一、二萬五千石 八貫二百目

一、二萬五千石 八貫四百目
 一、二萬六千石 八貫七百目
 一、二萬七千石 九貫目
 一、二萬八千石 九貫二百目
 一、二萬九千石 九貫五百目
 一、三萬石 九貫七百目
 一、三萬二千石 十貫目
 一、三萬三千石 十貫三百目
 一、三萬四千石 十貫五百目
 一、三萬五千石 十貫八百目
 一、三萬六千石 十一貫目
 一、三萬七千石 十一貫三百目
 一、三萬八千石 十一貫六百目
 一、三萬九千石 十一貫八百目
 一、四萬石 十二貫百目
 一、四萬二千石 十二貫四百目
 一、四萬四千石 十二貫六百目
 一、四萬六千石 十二貫九百目

朱書。左之御定寛文七年閏二月廿三日被仰出。

一、四萬三千石 十三貫百目
 一、四萬四千石 十三貫四百目
 一、四萬五千石 十三貫六百目
 一、四萬六千石 十三貫九百目
 一、四萬七千石 十四貫二百目
 一、四萬八千石 十四貫四百目
 一、四萬九千石 十四貫七百目
 一、五萬石 十五貫目
 與力 但、未二月より御定

一、百石 二百五十目
 一、二百石 三百十匁
 一、三百石 三百八十目
 一、四百石 四百四十目
 一、五百石 五百十匁
 一、六百石 五百七十目

一、江戸に相詰候不依大身小身、御役相勤候ものは、御扶持方出銀之内を以可被下、無役之ものは御納戸之銀子を以可相渡事。

一、跡々江戸御供并他國御使續候者には、出銀増被下候。御歩行之者並に者、路銀増被下候。其身勝手に茂不成儀、其上細過申候條、是以後者被下間敷候。但度々御供使に參候ものは、組頭より其時々相立御耳候様被仰出候事。
 一、半年替に江戸・京・大阪に參候者、出銀知行當可被下事。
 一、京・大阪御奉行に參候者、出銀御供並可被下事。
 一、道より罷歸者は、出銀半分返上可仕候。其所迄參着仕候者、二三日過罷歸候共皆可被下事。
 一、道中に而果申ものは、出銀皆可被下事。
 一、知行六十石より上、他國御使に參候もの路銀・馬銀、出銀之内を以可被下、無足人御合力金・御扶持方計被下者、并五十石より下御切米取は、御納戸銀を以可被下事。

七 江戸詰之者人馬並御扶持方御定

人馬御扶持方之覺

但、はした知行有之時者、二十四石迄は下に付、二十五石よりは上にて可付事。